

花美蔵通信 Vol.22

はなみくらつうしん

白扇酒造株式会社

事業本部 〒505-0303 岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志208-3
 蔵元 〒509-0304 岐阜県加茂郡川辺町中川辺28番地
 URL <http://www.hakusenshuzou.jp/>
 E-mail info@hakusenshuzou.jp

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今年の酷暑からの寒さの厳しさの気温差で体調は崩されていませんか？

今年には災害が多発しました。被害に遭われました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

弊社も台風21号の影響で瓦やガラス、トタン等が被害に遭いました。

もう何が起こるか分からない災害大国日本！皆さま災害対策は大丈夫でしょうか？

酒造りも本格的に始動し、今まで以上に気合が入っております。

是非、気持ちの入ったお酒をお楽しみください。

アメブロやっています！
<http://ameblo.jp/hanamikura/>



白扇酒造株式会社
 加藤祐基

花美蔵っ子に聞く！御歳暮に込められた想い



皆さん、こんにちは。年末も近づきそろそろ御歳暮を準備する時期がやってまいりました。今回のダイレクトメールでもご案内していますように、白扇酒造でも御歳暮商品を多数ご用意しております。

そこでこのコーナーでは、御歳暮のしきたりや歴史についてお話をさせていただこうと思います。

そもそも御歳暮の由来って、いったい何なのですか？



もともとは年越しに際し、お嫁さんの実家の人達をご先祖様へのお供え物を本家に持ち寄ったことが始まりとされています。

また御歳暮自体は全国的な風習ですが、関東と関西では送る時期が若干異なるんです。

言われてみれば関東の方が少し早いイメージです。ところで贈る物に食料品やお酒が多いのは、何か理由があるのですか？



これは年越し用の供え物として、魚介類やお酒を届けていた風習の名残と言われています。ちなみに御歳暮を1回だけ贈るのは失礼とされていて、継続して贈ることが大切という考え方もあるんですよ。日頃の感謝とこれからの長いお付き合いの気持ちをこめて贈るとよいですね。

へえ～、初めて知りました。



ところで今回改めて御歳暮について本で勉強していた際、熨斗(のし)について面白いお話があったのでご紹介します。

現在、私たちが普段使用する祝儀袋や、お悔みに使用する香典袋や不祝儀袋に記されている熨斗の結び方にもそれぞれ意味があるんです。例えばお歳暮に使う熨斗は一般的に紅白の「花結び(蝶結び)」です。花結びは簡単に結んだり解いたりが可能なので「何度あっても良い」という意味があります。また、お悔みにつかう熨斗は「結びきり」を使用し「繰り返すことのないように」と「二度と起こらないように」の意味が込められています。



その熨斗の起源は古く絵柄が縄文時代の土器に記されており、それらの形状に由来していると考えられています。土器に記されている縄は「結ぶ」、ひいては「永遠・縁」を表しているそうなんです。つまり日頃のお付き合いに対し言葉を添えて渡す御歳暮は「縁を繋げる」という意味になるんです。

まさか御歳暮文化が、縄文時代にまで遡るなんて驚きです！こうした風習は、時代が変わっても大切にしていきたいですね。

今回の御歳暮商品は、皆さんのそんな気持ちにお応えできるよう「贈って喜ばれる商品」をご用意させていただきました。ぜひこの機会にご利用ください。

